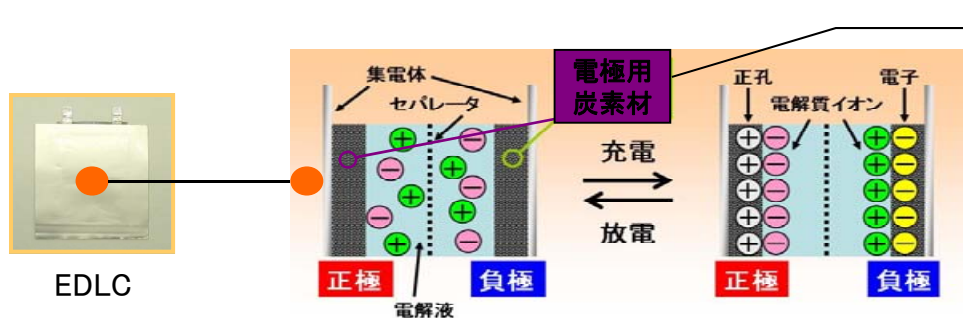


| | |
|---------------|---|
| 事業名 | キャパシタ電極材・リチウムイオン電池負極材向け炭化物の開発 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 木村 康 |
| 研究代表者名 | エネルギーシステム開発部 蓄電材料生産技術Gr 猪飼 慶三 |
| 実施場所 | 川崎事業所内 川崎開発センター |
| 製品に関するお問い合わせ先 | エネルギーシステム開発部 蓄電開発Gr 穂崎 憲二 TEL: 03-6275-3636 FAX: 03-3276-1337 E-mail: kenji.hosaki@noe.jx-group.co.jp |
| URL | http://www.noe.jx-group.co.jp |

原料コークスの仕様決定、精密炭化技術、粉碎・分級技術などの開発を実施した。

事業成果：2010年4月からキャパシタ電極材の事業を開始した。韓国GSカルテックス社との合併会社としてパワー・カーボン・テクノロジー(PCT)社を設立し、川崎開発センターのパイロット設備で確立した製造技術をベースに、製造・販売を行っている。本製品は、高純度の原料を使用し、アルカリ賦活製法によって高容量な(一般的な電極材の約1.3倍)電極材を得ることができるため、キャパシタの小型化・高性能化に貢献できる。アルカリ賦活製法は高容量化に効果的であることは一般に知られているが、工業化に対しては条件最適化の難しさがあり、本助成事業による技術開発が大きく貢献した。

事業概要：蓄電デバイスとして需要拡大が見込まれているキャパシタ電極材、およびリチウムイオン電池負極材向け炭化物開発を目指して石油コークスを原料に、最適な製造条件の確立を行った。



▲電気二重層キャパシタ(EDLC)の原理



電極用炭素材



▲PCT社の外観